

都市提携をしておりますスイスのサン・モリッツには、本町から初めてとなる親善訪問団の派遣を行います。

基本目標3「誰もが住みたくなる、より良い生活環境のまちづくり」

〈道路等関連施策〉

台風19号の被災体験を通じて町民の皆さまの生活上、そして観光地として、道路が重要なインフラであることを改めて痛感いたしました。町道箱1号線につきましては、山のホテル前の舗装工事を引き続き実施するほか、歩道設置に伴う道路線形改良に向けて、道路構造物の実設計を進めるとともに、龍宮殿前から歩道の整備工事を開始します。

〈住環境関連施策〉

住環境関連施策のうち、町民の憩いの場となる公園の整備につきましては、山崎公園は、老朽化により撤去した複合遊具に代わる遊具を設置するほか、小田原町公園にはすべり台を設置します。また、宮ノ下緑地は斜面の草刈りや高木等伐採を行い、環境の改

善を図ります。

町営住宅につきましては、建物劣化診断・インフラ調査を実施するほか、老朽化した元箱根町営住宅は退去が完了しましたので解体します。

〈生活環境関連施策〉

生活環境関連施策につきましては、イノシシや、シカ対策として、捕獲の大半を占めているわなの数を増やすとともに、わな免許の取得経費に対する補助額を増額し、体制強化を図ります。また、町中へのイノシシ出没を減らすために、正しいごみ出しなどの協力を引き続き呼び掛けてまいります。

美しい環境を保つために、主要道路の散乱ごみの回収や、観光客専用ごみ箱、観光行事への臨時バケットの設置、そして不法投棄に対する監視を継続してまいります。

〈上下水道事業関連施策〉

上下水道事業につきましては、湯本地内での減圧弁設置や、宮ノ下、小涌谷地内において老朽化した配水管の改良工事を進めます。また、水道施設は更新対応が必要な状況にあるため、アセットマネジメント計画を策定します。

るため、アセットマネジメント計画を策定します。

下水道事業につきましては、元箱根地内での管布設工事、強羅地内での管渠更生工事などのほか、宮城野浄水センターの汚泥脱水設備の改築工事や、水処理設備の改築工事などを実施し、適正な維持管理に努めます。

基本目標4「環境にやさしく、安全安心なまちづくり」

〈循環型社会形成関連施策〉

循環型社会形成関連施策につきましては、ごみの減量化および資源化、地球温暖化防止などを目的に小田原市と足柄下郡3町で協議しておりますごみ処理の広域化について、令和6年度からの足柄下郡系統の共同処理開始に向けて、可燃ごみ中継施設および資源化施設の整備方針などを定める広域化施設整備等基本計画を策定します。

清掃第1プラント、第2プラントおよび最終処分場につきましては、老朽化している設備の更新など必要な補修を

行い、運営管理に努めます。

〈自然環境・景観保全関連施策〉

自然環境や景観保全を図る施策につきましては、「環境先進観光地」推進に取り組む本町では、E.V関連施策や公共施設および街路灯のLED化、森林整備など、力を入れて取り組んでまいりましたが、地球規模の環境危機が大きな問題となる中、引き続き取り組んでいかなければなりません。



森林整備につきましては、県の水源環境保全・再生交付金を活用し第3期地域水源林計画に基づき、引き続き間伐や植栽を行い、水源かん養などの機能を発揮できる森林づくりを進めてまいります。

〈防災対策関連施策〉

平成30年度から取り組んで

まいりました防災行政無線のデジタル化整備が完了します。

戸別受信機の購入を希望する方に、購入代金の一部を町が負担して販売するとともに、放送した内容を電話で再確認することができる専用ダイヤルを開設し伝達強化を図ります。

木造住宅耐震化補助、大規模建築物耐震化補助、緊急輸送道路沿道建築物耐震化補助およびブロック塀等撤去改修補助につきましては、対象者に対して対応を促し、地震に強いまちづくりを進めます。

〈消防・救急関連施策〉

消防車両につきましては、巡察車および第5分団第1部へ配備する消防ポンプ車を更新するとともに、有事の際に資機材を搬送するための搬送車を新たに配備します。また、仙石原分遣所に配備されている高規格救急自動車および積載する医療品等を更新するとともに、救急救命士を指導する立場の指導救命士の育成を図り、救命体制の質の向上を図ります。

〈交通安全・防犯関連施策〉

対応が不可欠であり、皆が自分事として捉えて行動しなければなりません。先日、神奈川県が発表した「かながわ気候非常事態宣言」に賛同したのは、かねてより本町が実行してきた「環境先進観光地」の取り組みが間違いではなく、これからも着実に継続していくことで責任を果たしていくかなければならないという思いにほかなりません。

復興五輪として位置づけられている東京2020オリンピック・パラリンピック大会開催の年、過去に経験したことのない大きな被害に見舞われた本町では町民の皆さまとともにこの苦境を乗り越え、これからも世界に誇れる環境のもとで安心して働き、住まうことのできるまち、多くのお客様に訪れていただける持続可能なまちづくりを目指して、しっかりと再スタートを切ることができた「復興元年」と評価いただけるよう、全力で取り組んでまいります。

令和2年2月21日

箱根町長 山口昇士

箱根ファンの方々に大変好評をいただいております「箱びたサンクスクーポン」の発行や、伝統芸能体験キャンペーンを実施します。親善大使に就任していただいております八代亜紀さんとチョコレートプラネットの松尾駿さんには、その抜群の知名度を活かして箱根のPRにご協力いただきます。

〈観光関連施策〉

基本目標5「癒しと文化を提供する観光産業づくり」

交通死亡事故根絶に向けて、令和元年度初めて町単独で実施しました交通安全総ぐるみ大会の定着を図り、町交通安全都市推進協議会を中心に町全体で事故防止に努めてまいります。消費生活相談につきましては、小田原市と足柄下郡3町で取り組んでおります小田原市消費生活センターで引き続き対応するほか、特殊詐欺につきましまして、小田原警察署など関係機関と連携し、被害防止に努めます。

〈箱根ジオパーク関連施策〉

箱根ジオパークが小田原市・南足柄市および足柄下郡3町で形成されて今年で4年目を迎えるため、日本ジオパークの再認定審査を受ける年となります。引き続き認定されるよう連携して審査対応に万全を期してまいります。



新たな取り組みとして、夏休みに箱根火山の石を使った岩石標本づくりや、地下水採水地見学など、町内の小学生

を対象としたこどもジオ講座を開催し、箱根の火山や自然に関する理解を深めます。

〈産業振興関連施策〉

噴火警戒レベル引き上げに伴い、経営に影響を受けた事業者および台風19号により被災した事業者に対して、町の緊急融資制度を設け、その借り入れに対する信用保証料の補助、利子補給を引き続き実施し、着実な復旧・復興を支援します。

小売業、飲食業などを営む事業者の外国からのお客様への対応を支援するため、コミュニケーションツールとして有効な携帯型翻訳機の導入費用を引き続き補助します。

基本目標6「行政の効率的経営と官民協働体制の強化」

〈協働のまちづくりの推進関連施策〉

仙石原交差点改良を契機としたまちづくりにつきましては、地元の方々にプラットフォームを立ち上げ、専門家の意見を伺いながらまとめたまちづくりのテーマに基づき、地元の方々にまちづく

おまげ

国連の開発目標SDGsが目指す持続可能な社会を実現するためには、環境問題への